Business to Business

"B to B" それは私たちのフィールド。

リフォーム・住宅・ビル建築まで

大野建設

建設事業部

夢づくり、街づくり

夢づくり、街づくり

URL.http://www.oono.gr.jp/

大野建設株式会社　大野建設(株)一級建築士事務所

[本社] 〒361-0056 埼玉県行田市持田3-4-3 TEL.048-553-0100 FAX.048-553-0174

建設事業部　住宅事業部　リフォーム事業部

oono's BtoB for your business

創造に必要なのはミクロの視点とマクロの視点。
建設や環境の世界でも、それは欠かせません。
まず現場や地域に立って考える。そして地球や宇宙から見渡して考える。
人を、建物を、自然をテーマに想いを馳せる。
そうしてあらゆる価値と「共生」できる空間創造をめざし、私たちは創業100周年を迎えました。
お客さま、地域社会、大野建設の「三方良し」の思想を掲げ、一歩先を行く確かな技術とともに
これからも豊かな社会と環境に貢献したいと願っています。
新しい「夢づくり、街づくり」を志向する大野建設にご期待ください。

地域の視点、地球の視点、そ

私たちは未来を創造

こから生まれる理想の環境

する技術者集団です

oono's BtoB Thanks for relation

あらゆるものとの共生、それがテーマです。

いま失われつつある人と人、人と自然のふれあい。
大野建設は「共生」の心を建物を通じて育てたいと思っています。
明るいあいさつが飛び交い、心が温まるコミュニケーションの街。
一人ひとりの小さな積み重ねがやがて大河のようなムーブメントとなり、
次世代へ伝えられてゆくことを確信しています。

ご成約の7割はリピート・ご紹介から。

大野建設は、昨今のように「共生」が提唱される以前から、地球、自然、地域、人と共に生きることを実践してきました。

それは、木や石を使う「建築」という仕事ならではのものだったかもしれません。

そして環境意識の高まる現在、「共生」は私たちのさらに大きなテーマとなっています。

象徴的なのは「人」とのつながりであり、「地域」との共生です。

現在、ご契約いただく案件の約7割が、かつて当社をご利用いただいた施主さまからのご紹介によるもの。

これは大野建設への確かな信頼感を表しています。

プランや技術への評価はもちろんのこと、特に人と人のつながりに高い評価をいただいております。

■壮幸会病院の紹介ネットワーク

1994(平成6年)
理事長宅新築

1996(平成8年)
院長宅新築

1989(平成元年)
病院新築

1995(平成7年)
病院新築

1996(平成8年)
病院大改修

1996(平成8年)
看護施設新築

1997(平成9年)
ハートフル行田新築

User's Report

地域に密着した会社としてますます期待しています。

地域に根差した医療機関を目指して平成元年に行田総合病院を開設しましたが、そのときからのお付き合いになります。病院は24時間体制ですから、いつなんどき何が起こるかわからない。その点、24時間いつでも対応してくれる大野建設の技術力には大きな信頼を寄せています。大野建設も、やはり我々と同様、地元に密着した建築会社として、ますます発展されることを願っています。

川嶋　博さん
壮幸会行田総合病院●常務理事

40年以上の長いお付き合い、信頼できるパートナーです。

先々代が自宅の新築を依頼して以来、大野建設と私どもは実に40年以上の長いお付き合いになります。たとえば、ドアひとつ壊れたというだけでもすぐに駆けつけてくれるスピーディさが他とは違うなと思っています。そんな長いお付き合いの中で、住まいだけでなく花市場やレストランといった事業の建築も手がけていただき、工事はなんと21回にものぼり、厚い信頼のおけるパートナーになっています。

竹内 行雄さん
埼玉綜合園芸株式会社●代表取締役

職人のこだわりと匠を現場で働く姿に見ました。

私が大野建設を特に評価しているのは、実に社員教育が行き届いているという点。現場を見ていると、スタッフ全員から細かな気配りが感じられ、なかなか真似のできないことだなと感心するほどです。また普段はにこやかなのに、現場へ出ると背中に職人の匠というか、こだわりが見える大野社長の人柄もとても魅力的。この会社に任せておけば大丈夫という安心感と一体感があります。

中澤 伸行さん
株式会社 佐間染工場●代表取締役

998(平成10年)
鎌田邸新築

1999(平成11年)
外来棟新築・病院増築

2001(平成13年)
病院新棟新築

2003(平成15年)
外来棟増築

平成10年)
局新築

2003(平成15年)
第2院外薬局新築

2007(平成19年)
第5期増築(滅菌センター棟等)

1998(平成10年)
介護センター新築

1998(平成10年)
駐車場整備

oono's
BtoB
History and future

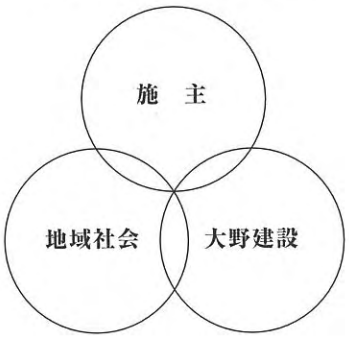
100年の歴史、100年の未来。

これまでに獲得した「信頼」、「経験」、「技術」を次の100年のために生かします。

継続は力なり、という言葉があります。
たったひとりの職人から始まった大野建設が地域密着で着実な成長を遂げ
創業100周年を迎えることができたのは自然なことでしょうか、それとも奇跡でしょうか。
この躍進を支えたのが「三方良し」の思想です。
お客さま、地域社会、大野建設のすべてに利益をもたらすという
この考え方は時代の変遷にかかわりなく、いつも成長の原動力となるに違いありません。
いつまでも継続できる社会と地球のためにこれからも大野建設はベストを尽くします。

「三方良し」の理想をかたちにする会社です。

大野建設のシンボルマークは、「お客様」「地域社会」「大野建設」を白いラインで表し、共に発展、共に繁栄、共に幸せを得るようにとの願いを込め、事業に取り組んでいます。



100th Spirits

事業用建築物・施設には、ながい歴史のなかで獲得してきたスキルとノウハウが生きています。

【大野建設100年の歩み】

1907●明治40年　大野福次郎、個人営業で建設業を創業。家業の大工を引き継ぎ、大野建設の礎となる。

1950●昭和25年　大野島蔵、大野建設の代表となる。
住宅金融公庫が発足し、大野建設も戦後の住宅環境整備の一翼を担う。

1963●昭和38年　有限会社大野建設へ組織化。
本格的な木造建築のパイオニアとして高い評価を受け、受注は年々増加。

1966●昭和41年　大野建設株式会社に改組。

1970●昭和45年　子会社「有限会社大野不動産」を設立。
建設と土地の密接な関係をスムーズに処理するため、不動産部門を独立。街づくりへの貢献をめざす。

1985●昭和60年　埼玉県入札業者資格A級獲得。
CIを導入し、新しいステートメントおよびマークを決定。

1986●昭和61年　新社屋完成により本社移転。
業容拡大により、鉄筋、鉄骨、木造工法に加え2×4工法を開始。

1987●昭和62年　CADシステム導入。コンピュータによる図面作成、連動積算業務を開始。
お客様のご要望により迅速に対応できる体制づくりが整う。

1988●昭和63年　住宅都市整備公団の住宅建設・工事の受注。

1989●平成元年　資本金を6,075万円に増資。

1992●平成4年　創業85周年。大野年司、代表に就任。資本金を8,000万円に増資。

1993●平成5年　埼玉県入札業者資格特A級獲得。

1994●平成6年　建設省住宅局長賞を受ける。建設会社として、埼玉県初の受賞。

1995●平成7年　労働省広域認定職業訓練校「番匠塾」を開校。
熊谷総合展示場にモデルハウス「ノクターン」出展。

1997●平成9年　創業90周年。番匠型住宅合理化認定取得。

1998●平成10年　埼玉県内建設業者で初の建設省建設大臣顕彰を受賞。

1999●平成11年　ISO9001認証取得。

2000●平成12年　第1回「大地に還える住宅」設計提案競技優秀賞受賞。

2002●平成14年　TBSハウジング東松山会場にモデルハウス「フェルマータ」出展。ISO14001認証取得。

2003●平成15年　新熊谷ハウジングセンターにモデルハウス「リミックス」出展。

2004●平成16年　資本金を9,000万円に増資（グループ資本金1億1,000万円）。

2006●平成18年　日本道経会より「三方良し経営賞」受賞。「地球の会」設計コンペ佳作受賞。
熊谷総合展示場のモデルハウスを「五感の家」に建て替え。

2007●平成19年　創業100周年。

2008●平成20年　宿泊体験ハウス長期優良住宅先導モデル事業「きづくり」1号完成。

2011●平成23年　勤続44年目の馬場棟梁が優秀施工者国土交通大臣顕彰を受賞。

oono's
BtoB
Our promise

100年の伝統と信頼を礎に、これからもお客様第一主義を貫いてゆきます。

私たち大野建設は、お客様のどのようなご要望にもプロフェッショナルならではの工夫とご提案でお応えいたします。けっして「できない」とお断りしない。それが大野建設の約束ごとになっております。また、技術者のうち8割が有資格者で、そのうち7割が一級建築士・一級施工管理技士というハイレベルな技術者集団です。
ご計画段階からお引渡し後のアフターケアまで一貫したトータルシステムを整え、真にクリエイティブな会社であり、これだけの陣容を整えた建設会社はあまり例がないと自負しています。それゆえ、私たち大野建設の財産は「人間」だと断言できます。一人ひとりが人間的に研ぎ澄まされ、鍛練されていなければ、お客様はもちろん、地域社会にお役に立てないと考えるからです。こうした信念をもとに、100年におよぶ活動を続けてまいりました。その結果、お客様のご満足や安心の声が紹介工事を次々と生み出し、地域にネットワークが大きく広がっています。
さらに私たちは、地球にやさしい建物づくりをいたします。これからは、私たちが暮らすこの1つしかない地球といかに共生していくかが最大のポイントといっていいでしょう。

大野建設では、地球環境保全に関するISO14001の認証を業界内においていち早く取得し、地域に根差して地球を考える、地球の視点で地域を考える、そんな複眼の思考で建物づくり・環境づくりをしております。
100年の伝統の匠に最新の建築テクノロジーを融合させ、私たち大野建設は建築分野の先進的なモデルケースとなり、新たな企業価値を提案・提供できる企業へと、さらなる飛躍を遂げてまいります。夢づくり・街づくりで限りない躍進の陽が昇り続けると信じながら…。

大野建設株式会社
代表取締役 大野年司